



ピアノ 平井かほる



バンドネオン 門奈紀生



バイオリン 麻場利華



コントラバス 大塚 功

アストロリコ

1992年、京都でデビュー。日本を代表するバンドネオンの演奏家である門奈を中心とするその活動は、早くからピアソラ楽曲に注目するなど、常に独創的であり「タンゴ新世紀の旗手」と称される。ヨーロッパ、南米などの毎年の海外公演による評価は高い。'95年にはスペイン・グラナダ国際タンゴフェスティバルに唯一の日本人として史上初の招牌出演を果たし、地元マスコミに「タンゴの何たるかを我々に示してくれた偉大なるアーティスト」と絶賛される。'96年、'98年アルゼンチンにおいてレコーディング日本以上に本場アルゼンチンが注目するタンゴバンド、いよいよ待望の東京デビューコンサート。

アストロリコとスカパラ迫力のピアソラジョイント



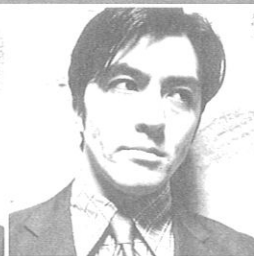
北原雅彦



冷泉田竜之



Gamou



谷中敦



Nargo



沖 祐市

東京スカパラダイスオーケストラ ホーンズ5 + キーボード

濃い個性の中に潜む理知的な音楽構築力は、ルーツの“スカ”を新たに“トーキョースカ”として発展させ、独自のスカパラ・サウンドを生み出している。その音楽性とライブの実力は海外でも評価は高い。一聴してスカパラとわかるサウンドは、TV番組のオープニングテーマやBGM、CF等で一度は耳にしたはず。ピアソラ楽曲を演奏するのはもちろん今回が初めて。しかし以前よりピアソラレコードを収集していたバリトンスaxの谷中など、今回の挑戦でより深いスカパラサウンドの誕生を期待している。